

## ○ 背景と目的

- ・本調査は、わが国の歯科保健状況を把握し、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」や「健康日本21（第二次）」等の各基本計画の評価など、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的とする。
- ・本調査は、昭和32年から平成23年までは6年毎に実施されていたが、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」（平成24年厚生労働省告示第438号）において、今後の調査期間を5年毎にする旨記載されたことを受け、前回平成28年実施分より実施周期が5年に変更され、次回調査を令和3年度に実施を予定していた。
- ・本調査は、歯科疾患実態調査を円滑に実施するためには、都道府県・保健所設置市・特別区、保健所からの作業協力が必要であるが、新型コロナウイルス感染症の感染状況及び当該感染症に係る自治体（とくに保健所）における業務への影響等を勘案し、令和3年歯科疾患実態調査の実施を見合わせ、令和4年度に実施するもの。

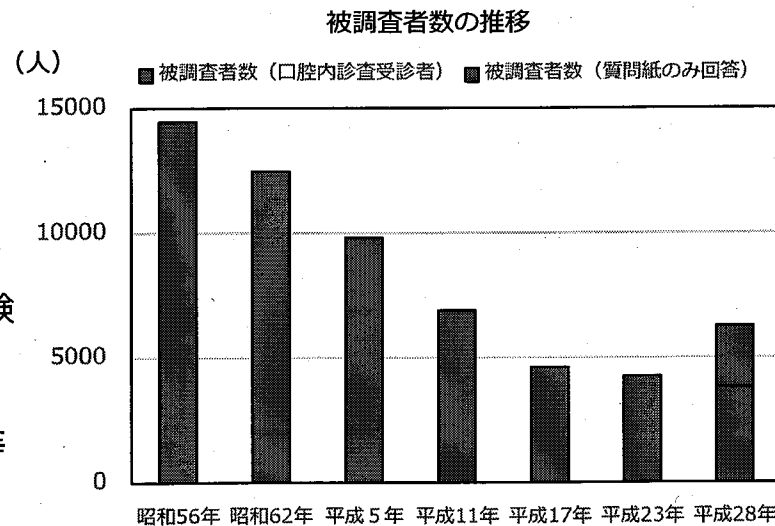
## ○ 客体・抽出方法

令和4年調査においては、調査会場における感染症予防対策の徹底をより一層図りつつ、国民生活基礎調査により設定された単位区から無作為に抽出した300単位区内の満1歳以上の世帯員（約6000世帯、15,000人）を対象として実施する。

（参考）平成28年実績：調査客対数約19,000人、被調査者数6,278人（うち口腔内診査受診者3,820人）  
平成23年実績：調査客対数約15,000人、被調査者数4,253人

## ○ 報告を求める事項

- ① 性別
  - ② 生年月日
  - ③ 歯や口の状態
  - ④ 歯を磨く頻度
  - ⑤ 歯や口の清掃状況
  - ⑥ フッ化物応用の経験
  - ⑦ 歯の状況
  - ⑧ 補綴の状況
  - ⑨ 歯肉の状況
- 等



20本以上の歯を有する者の割合の年次推移（調査結果より）

